

経営比較分析表（令和4年度決算）

神奈川県 横浜市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	政令市等	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ² 当たり家庭料金(円)	
-	68.92	100.00	3,011	

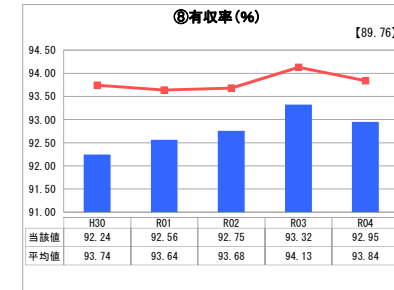
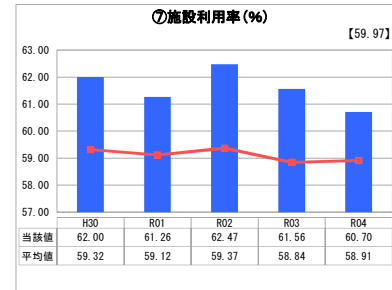
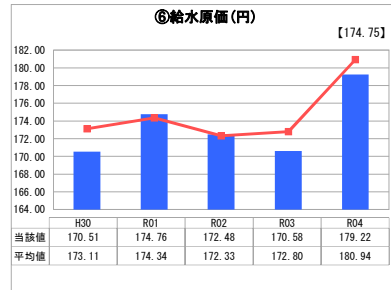
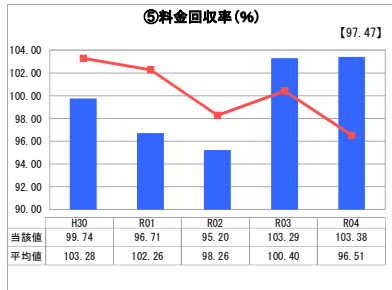
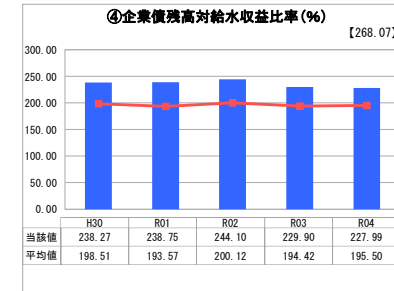
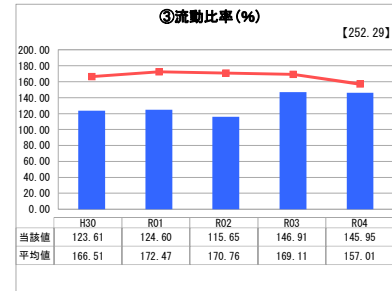
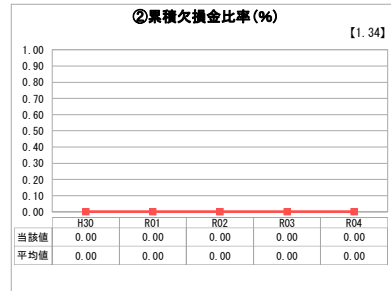
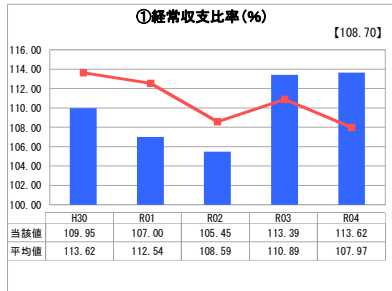
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,753,645	438.01	8,569.77
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,755,673	438.01	8,574.40

グラフ凡例

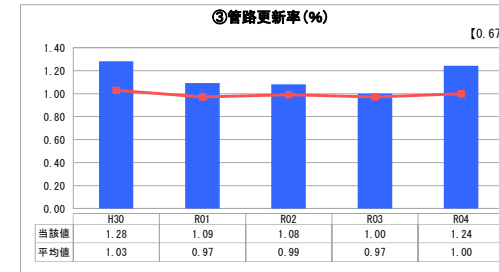
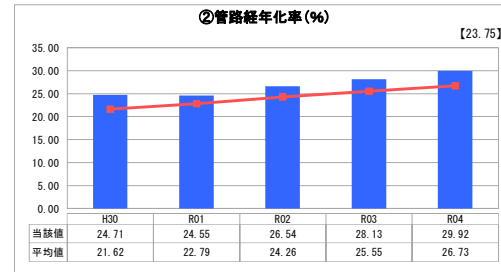
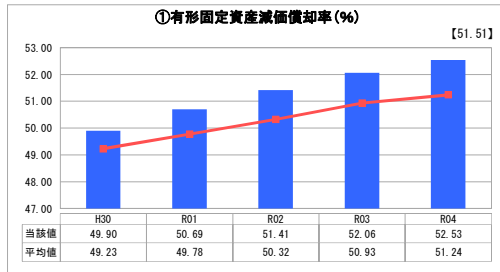
- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は113%で単年度の収支は黒字となっています。令和3年7月の料金改定の影響を年間を通して受け給水収益が増加しましたが、昨年度に比べ有収水量は減少したため、昨年度と概ね同数値となりました。
 ② 流動比率は145%で短期的な債務に対する支払能力を有しています。
 ③ 企業債高対給水収益比率は類似団体平均値を上回っており、昨年度と概ね同数値となっています。
 ④ 料金回収率は類似団体平均値を上回っており、昨年度に引き続き100%を上回っています。
 ⑤ 給水原価は、有収水量は減少し動力費が大幅に増加したことにより、昨年度より9円数値が上昇しています。類似団体平均値も昨年度より8円数値が上昇しており、本市だけでなく全国的に増加傾向となりました。
 ⑥ 施設利用率は類似団体平均値を上回っており、効率的な施設の運営を行っています。
 ⑦ 有収率は類似団体平均値を下回っているものの、同様の水準で推移しています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は数値が上昇を続けていますが、施設ごとの具体的な状態に応じて更新時期を見極めるなど、計画的に施設の長寿命化を図っています。今後は浄水場等の基幹施設の再整備により、数値は改善することが見込まれます。
 ② 管路経年化率は、類似団体平均値を上回っていますが、本市が独自に定めた耐用年数に基づき、効率的に管路の更新を図っています。
 ③ 管路更新率は、類似団体平均値を上回っており、計画的に老朽管の更新に取り組んでいます。

全体総括

経営の健全性及び効率性に係る指標から、経営状況は概ね健全な状況であるといえます。
 事業を取り巻く環境としては、今後は人口の減少や水需要構造の変化等により、使用水量の減少に伴う水道料金収入の減少が見込まれています。そのような状況の中でも、老朽化した水道施設の更新・耐震化を着実に進めていく必要があるため、将来に向け持続可能な事業運営に努めていきます。